



有限会社 茅ヶ崎方式英語会 102-0073 東京都千代田区九段北1-6-6 カサイビル I  
Tel/Fax 03-3288-2770 <http://www.chigasakieigo.com/> e-mail: [info@chigasakieigo.com](mailto:info@chigasakieigo.com)

## 新年おめでとうございます



協力校主宰者の皆様、講師の皆様、そして、学習者の皆様、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

### 新コース CLASS-0 に寄せて

茅ヶ崎方式英語会 代表 大美賀廣芳

#### ★英語学習ノウハウ本は良く売れる？

英語学習のブログは100万を超え、英語のメルマガも優に1000を超え、本屋さんには英語勉強法のノウハウ本が常時並んでいる。それらの多くは、「聞き流すだけで英語をマスターできる」とか、「毎日10分で英語がペラペラになる」といった宣伝文句を批判することからはじまり、英語学習の極意を経験論的に述べて、「自分で沢山勉強するしかない」という結論に落ち着く。

読者の多くは、これらの英語学習のノウハウをいくら学んでも、英語力向上に直結しないことは分っている。それでも、出張の時間つぶしにノウハウ本を買い、メルマガは継続購読し、ブログには迷える学習者が救いを求めて集まる。

ほとんどの学習者は、外国語習得には時間が掛かること、継続学習が不可欠なことを分っている。しかし、外国語学習では勉強した成果を直ぐに実感することは難しいので、時間の掛かる学習の中で、自分の学習はこれでよいのだろうかと不安になることが多い。

その時、ノウハウ本などに救いを求めることになるのだろうか？

そうだとすれば、一人の学習者が何冊ものノウハウ本を買うことになるから、結果、英語学習ノウハウ本は良く売れることになる。

もし、あなたがこの仮説に相当するノウハウ本購入者だったら、今読んでいるノウハウ本を捨て、茅ヶ崎方式英語学習会を試すべきだ。そこには、初回から学習成果を実感できるクラスがあり、システムティックに工夫された茅ヶ崎方式英語学習法が英語をマスターするまで継続学習を促してくれるはずである。

#### ★「アウトプットの必要性」を意識した英語学習スタンス

そんなことを嘯いていたら、一人の学習者から一冊の英語学習ノウハウ本を渡された。(白井恭弘著 外国語学習の科学 2008年9月 岩波新書)

読み進むうちに、この本がいつものノウハウ本とは異なるものであることに気付いた。特に、「インプット(聞くこと、読むこと)だけで言語習得が可能か、それともアウトプット(話すこと、書くこと)が必要か、という論争」について「インプットとアウトプットの必要性があれば、頭の中でリハーサルすることで、(外国語は)話せるようになる」という仮説を立ててくれたことである。

茅ヶ崎方式で英語学習会を実施して気付いたことであるが、同じように自宅学習をしているはずなのに、なかなか成果に結びつかない学習者もいれば、どんどん力を付けていく人もいる。

また、どんどん力を付けていく人には特徴的な学習時の性癖がある。それは、英語を聴いている時に、口をもごもご動かしていることだ。聴いている文章を自分が使えるように聴いている感じだ。白井氏の仮説で再考してみると、実際に発語をしていなくても、頭の中や口の動きで、アウトプットのリハーサルをしているようだ。

口をもごもご動かしながらリスニングをすれば英語の上達が早くなるとは断言はできないが、「アウトプットの必要性」を感じながらリスニング学習するという学習スタンスはとても重要だと思う。

「アウトプットの必要性」を意識した英語学習では、英語の **Syntax** (統語法=文の構造と基本文法) と **Prosody** (韻律=発音、アクセント、イントネーションとリズム) が、日本語とどのように違うのかを知ることが大切になる。

日本語が母国語の私たちにとって、外国語である英語の語彙、文法、発音など日本語には無いか異なることを勉強するのだという意識がしっかりしていないと、いつのまにか、英語に日本語と同じものを求めてしまって、言語批評家のようになって、なかなか英語が使えるようにならないということにもなりかねない。

### ★CLASS-0 コースで学習スタンスを定める。

ところで、この「アウトプットの必要性」を意識した英語学習の基本スタンスを開発することが、「ゼロから始める再学習の英語」「ゼロからの茅ヶ崎方式」CLASS-0 コースのエッセンスなのかもしれない。

CLASS-0 コースの学習会では、日本人なら誰もがご存知の人物を簡潔な英語で語る LISTENING をベースに、Word Test とその説明で基本の基本 500 語の語彙を徹底練習する。EXERCISE-1 ではチャンク並べ替え、EXERCISE-2 は LISTENING に使われた和文英訳で語順と構造の違いを理解し、身に付けるように促し、EXERCISE-3 では基本文法を、LISTENING ではプロのアナウンサーの正しい Prosody を聴き、EXERCISE-4 で発音練習、EXERCISE-5 では発話練習するという構成になっている。英語の何を学習したら良いかを徹底的に理解してもらえるよう構成されている。

今まで、受験に出るからという理由だけで英語の勉強をして、難しいと感じたり、つまらないと思ったり、何故英語を勉強するのかを知らされなかった人たちに、このコースで学習して、英語学習の基本スタンスを身につけて欲しい。

英会話スクールへ行く前に、効果的な受験勉強をするために、効率的な資格試験勉強の準備に、CLASS-0 コースで学習して、英語学習の楽しさを知っていただけたらと思う。



## お知らせ

### Book-0 好評発売中！

「茅ヶ崎方式英語教本 Book-0 前編」(ゼロからスタート再学習の英語) は、予定通り、昨年 10 月、茅ヶ崎出版より発売されました。CLASS-0 コースの教本として使用されるものです。基本 500 語で書き下ろされた人物評伝は出色で、上級クラスの学習者にも一読されることをお勧めします。協力校を通して購入のお申し込みもできます。

### 英文添削道場 終了！

2008年1月よりWeb上に開いておりました「松山薫 英文添削道場」は、当初予定どおり、昨年末日をもって終了いたしました。協力校の主宰者・会員の方々からも熱心なご応募をいただきました。有難うございました。

～協力校便り～

## 『授業でやった単語がお気に入りのドラマで聴き取れた時の喜び』

吾妻橋校 C3会員 内田 充枝

50代の主婦です。英文科を専攻したにも拘わらず使えないという、よくあるパターンでした。英会話学校やカルチャーセンターに通い、ラジオ英会話を聴き、英字新聞をとり、2ヶ国語放送を聴き、でもちょっと・・・という状況でした。

しかしある日、「好きな英国ドラマを絶対原語で理解したい」→「リスニング強化」→「噂に聞く茅ヶ崎式」→「インターネット検索」→「近くに協力校あり、先生はTESL(英語教授法)の資格保持!!」ということで、今に至っています。

クラス1(初級)から初めてすぐ“若い時にこんな教室があったら”と思ったものです。テキストは段階を踏んで力が付くよう極めて戦略的に作られており、語彙の身につけ方は着実で、これは茅ヶ崎式の大きな特徴だと思います。

ニュースのリスニングは緊張感と集中力を持って、毎回新鮮な気持ちで取り組んでいます。先生はとても納得のいく教え方をして下さり、生徒の力の見極めが確実なので、大変信頼感があります。

TOEICも教室で受けられ、実力が客観的に把握できるのも励みになります。まだまだですが、“英語で話されていることは英語で聴きたい”、“英語で書かれているものは英語で読みたい”という希望は一応かなえられているかなと、感謝しています。

主婦としては、コストパフォーマンスが高いのもすごく嬉しいです。

「がっちり英語を勉強したい」という人には、絶対、お勧めです!!

## 『茅ヶ崎クラスに文法特訓をプラス』

吾妻橋校 C3会員 社会人男性

以前、他の茅ヶ崎方式の教室に通っていましたが、以下の特長から現在、吾妻橋校にお世話になっています。

### 【重要語句の穴埋め】

教本各ユニットの英文で、太字の課題単・熟語以外に先生が大事と思われる部分が空白になったペーパーが渡され、それを埋める作業があります。つまり予習時に各文章を注意して読むこと、文章を読み進める時の理解・判断能力が求められます。

### 【新出単・熟語テスト】

音が大事にする茅ヶ崎方式を踏襲すべく、授業中に行われる確認テストは文字を見ず、音を聞いてすぐ日本語に置き換えることを要求されます。またその際、先生から派生語のチェックも入ります。

【リスニングテストの聴き方】リテンション力をつける意味から、聴きながら書き取ったり1回目に書き入れた英語を見ながら2回目を聴いたりすることはなるべく避けるよう指導されます(私は今、悪戦苦闘中です)。

### 【文法の学習(マンツーマンレッスン)】

私は文法力に自信が持てなかったため、毎回30分ほど市販の教材を利用して別途レッスンをしてもらっています。各単語の親和性や連語の知識があれば、リスニングのとき前後関係から連なる言葉の予想が無意識のうちにより可能となります。茅ヶ崎方式以外にも、こうした生徒からの要請にもできる限り応えてくださいます。

### 【その他】

実力のある学友、先生のバックグラウンド(コロンビア大学院卒)や優しい人柄、駅から出てすぐという近さ等も惹かれる点です。

太田校（群馬県太田市）はこんな風にユニークな教室です。

太田校 野村春雄

太田校はボランティア通訳のグループの有志により約12年前に設立され、茅ヶ崎方式の教材と学習方法に則って自主運営している特異な形態の協力校です。

現在、5クラスで40数名の会員がいますが、本校には経営者も専任の指導者もいません。運営は会員の中から選ばれた役員により、執行部に当たるコアコア委員会と評議会に当たるコア委員会が当たっています。

通常の学習活動は各クラスとも全メンバーが順番でインストラクターとなり、2回連続でレッスンを担当します。当番は準備が大変ですが、それが勉強になり、皆さん楽しそうに務めを果たしています。活動時間が昼間ですから会員の9割近くが女性です。カカア殿下で有名な群馬県だけあってウーマンパワーは圧倒的ですが、男性は定年退職者等の数名ですので希少価値があって大切にされています。皆さん、特にお母さんたちは家事、育児、仕事と多忙を極める日々、驚異的な頑張りで時間を生み出して予習、復習に精励、クラスでは素晴らしいパフォーマンスを見せています。

太田校では通常のクラスの他に、年2回のクラスイベント（ネイティブスピーカーを招いての特別学習）、年1回の講演会、ポットラックパーティ等を実施しています。

そんな中で今年度は講演会が特筆に値する行事になりました。例年は英語学習に関するものが中心でしたが、今年はビルマ(ミャンマー)からの政治難民で、ビルマ在住時はアウン・サン・スーチーさんの側近として民主国家ビルマの憲法草案起草委員として働き、母国の民主化運動に文字どおり命を賭して闘ってこられた Tin Win Akbar 氏を講師として実施したことによるもので、いろいろな意味で画期的な成果が得られました。一つには、これまで学習の対象であった英語が、現実に世界で起こっていることが語られるのを聞いて理解するための言葉となっていることを実感できたことです。二つ目には、単なる知識や教養を高めるためではなく、厳しい現実と対峙し、圧政と闘う人間の生き様を目の当たりにし、自分たちの考え方、生き方を問い直すことにつながる講演会になったことです。豊かな知性と広く深い学識の持ち主であり、気力に溢れ、将来の展望を拓くのが困難な状況にあっても明るい笑顔を絶やさない講師の人柄とその講演に、参加者一同深い感銘を受けました。英語の学び甲斐や学習目的が体験を通して認識できました。講演会の後は賑やかな食事会が延々と続きました。

Tin Win 氏の英語は微かにビルマ語的な響きがありますが、パーフェクトで流暢な英語です。外国語として英語を学ぶ私たちにとって最高の模範であると思います。Tin Win 氏が私たち日本人に訴え、問いかけるものに一人でも多くの人に耳を傾けていただき、私たちが享受した感動と充足感を茅ヶ崎方式英語会本部や全国の協力校の皆さんと共有できたら素晴らしいと思います。機会がありましたら是非、氏を講演会講師として招かれることをお勧めします。

今後も日常の活動を充実させると共に、こうしたクラスの枠を超えた企画にも力を入れていきたいと考えております。

~~~~♪~~~~~~~~♪~~~~~~~~♪~~~~

あとがき：毎年この時期になると楽しみにしている和菓子があります。茶道の初釜用のお菓子として知られ、新年のこの時期にしか食べられない「花びら餅」です。まるで赤ちゃんの頬のような色と触感、やさしい甘さ。お店の前を通ると買わずにはいられません。(Hara)